

環境用語解説

◆環境用語解説◆

◆全般

◇ISO14000シリーズ

ISO14000シリーズは、国際的な非政府機関である国際標準化機構（ISO）が制定する環境マネジメントに関する規格の総称で、環境マネジメントシステムを中心として、環境監査、環境パフォーマンス評価、環境ラベル、ライフサイクルアセスメントなど、環境マネジメントを支援する様々な手法に関する規格から構成されています。認証登録の対象となっているのはISO14001のみです。

◇SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

◇環境基準

環境基本法第16条で、「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準を定めるものとする。」と定義されている行政上の政策目標です。これは人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものです。

◇規制基準

公害関係法令及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例で、事業者等が遵守すべき大気の汚染、水質の汚濁又は土壌の汚染の原因となる物質の排出、騒音、振動、悪臭に関する基準をいいます。

◇公害

事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気の汚染、悪臭、水質の汚濁（水質以外の水の状態又は水底の底質が悪化することを含む。）、騒音、振動、地盤の沈下及び土壌の汚染によって、人の健康又は生活環境に被害が生ずることをい

います。環境基本法における「公害」は上記の7種類を指し、いわゆる典型7公害と呼ばれています。

◇ 定量下限値

定量下限値は、その分析法で正確に定量できる最低濃度のことをいいます。

◇ P R T R (Pollutant Release and Transfer Register 化学物質の排出量の把握等の措置)

人の健康や生態系に有害な恐れのある化学物質について、環境中への排出量や廃棄物としての移動量を事業者自ら把握して行政に報告し、行政がそれらを集計し、公表する制度です。

◇ P C B (Poly Chlorinated Biphenyl ポリ塩化ビフェニル)

P C Bとは人工的に作られた主に油状の化学物質です。P C Bの特徴として、水に溶けにくく、沸点が高い、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されていましたが、生体への蓄積性や慢性毒性が高いことから、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

◇ 用途地域

秩序あるまちづくりを行うため、都市計画法によって定められた12種類の地域区分をいいます。住居地域、商業地域、工業地域のように、予め地域の用途が定められています。

なお、本市における工業専用地域は、騒音及び振動規制法の指定地域から除外されています。

◆ 単位

◇ μg (マイクログラム)

物質の重量を表す単位の一つです。

$1\mu\text{g}$ は 100 万分の 1g になります。

$1\mu\text{g} = 1,000\text{ng}$

◇ ng (ナノグラム)

物質の重量を表す単位の一つです。

1ng は 10 億分の 1g になります。

$1\text{ng} = 1,000\text{pg}$

◇ ppm (Parts Per Million)

微量な物質の濃度や含有率を表すのに用いられる単位で、100 万分率を示します。

例えば、1ppm は 100 万部中 1 部の含有率を示します。

1 ppm = 1,000 ppb

◇ ppb (Parts Per Billion)

ppm より 1000 倍大きな分率で 10 億分率を示します。

例えば、1ppb は 10 億部中 1 部の含有率を示します。

1 ppb = 1,000 ppt

◇ N m³ (ノルマル立米)

0℃ 1 気圧の標準状態を示すもので、主として排出ガス量等を表わす場合に用います。1 N m³ とは標準状態に換算した 1 m³ あたりのガス量を表しています。

◆ 大気関係

◇ アスベスト (石綿：いしわた・せきめん)

天然に産出される繊維状けい酸塩鉱物の総称です。耐熱性、耐薬品性、抗張力、耐摩耗性、絶縁性等の諸特性に優れているため、建設資材、電気製品、自動車、家庭用品等、様々な形態で利用されてきましたが、現在では原則として製造等が禁止されています。

その繊維が極めて細いため、研磨機、切断機などの施設での使用や飛散しやすい吹付けアスベストなどの除去等において所要の措置を行わないと、飛散したアスベストを人が吸入してしまうと、肺線維症 (じん肺)、悪性中皮種の原因になるといわれ、肺がんを起こす可能性があることが知られています。労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで予防や飛散防止等が図られています。

◇ 硫黄酸化物 (S O_x)

硫黄酸化物は、二酸化硫黄 (S O₂) や三酸化硫黄 (S O₃) 硫酸ミスト (H₂ S O₄) などがあります。主に石油等の化石燃料や原料中の硫黄分の燃焼により発生します。また、火山の噴火によっても硫黄酸化物は発生します。

◇一酸化炭素（CO）

石油等の炭素化合物が不完全燃焼したときに発生する無色無臭のガスで、主に自動車排出ガスに含まれています。

◇一酸化窒素（NO）

物の燃焼等により生成され、酸素と接触すると二酸化窒素になる無色の気体です。発生源となる工場・事業場、自動車からは、大部分が一酸化窒素として排出されます。

◇一般環境大気測定局（一般局）

住宅地などの人が常時生活している地域全体の大気汚染の状況を常時監視するために設置された測定局のことです。

◇自動車排出ガス測定局（自排局）

交差点、幹線道路付近など、自動車の排気ガスによる影響を受けやすい区域の大気汚染の状況を常時監視するために設置された測定局のことです。

◇エコドライブ

急発進・急加速をしないなどの環境に配慮した運転方法をいいます。排気ガスを抑制することでNO_x（窒素酸化物）などの大気汚染物質や温室効果ガスであるCO₂（二酸化炭素）等の発生を抑えることができます。

◇光化学スモッグ

工場・事業場、自動車から大気中に排出される窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし、光化学オキシダント（O_x）という汚染物質が生成されます。大気中の光化学オキシダントの濃度が高くなると、白いモヤがかかったようになり、この現象を「光化学スモッグ」といいます。その発生は気象条件に強く左右され、晴れて、気温が高く、風が弱いときに発生しやすいです。

光化学スモッグが発生すると「目やのどの痛み」、「頭痛」、「息苦しい」など人体に影響が出る可能性があります。

◇酸性雨

工場・事業所から発生する二酸化硫黄（SO₂）や窒素酸化物（NO_x）などを起源とする酸性物質が雨・雪・霧などに溶け込み、通常より強い酸性を示す現象です。酸性雨は、河川や湖沼、土壌を酸性化して生態系に悪影響を与えるほか、コンクリートを溶かしたり、金属に錆を発生させたりして建造物や文化財に被害を与えます。